



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月9日

上場会社名 ジャパンマテリアル株式会社
コード番号 6055 URL <https://www.j-materials.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 久男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 長谷 圭祐

TEL 059-399-3821

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	23,745	30.1	6,127	31.4	6,493	38.1	4,511	42.1
2022年3月期第2四半期	18,257	12.4	4,663	15.1	4,703	16.0	3,173	13.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 4,957百万円 (47.9%) 2022年3月期第2四半期 3,352百万円 (20.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	43.95	
2022年3月期第2四半期	30.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	50,300	40,343	80.2
2022年3月期	45,502	37,202	81.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 40,343百万円 2022年3月期 37,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		18.00	18.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	18.5	11,000	17.9	11,000	13.3	7,500	11.4	73.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	105,149,520 株	2022年3月期	105,149,520 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,497,740 株	2022年3月期	2,512,923 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	102,642,908 株	2022年3月期2Q	102,620,946 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、景気を持ち直しの動きがみられましたが、ウクライナをめぐる国際情勢の悪化による原材料やエネルギー価格の高騰、急激な円安の進行などにより、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループが属する業界では、スマートフォンやパソコン、テレビなどの一部民生機器の需要が少し弱くなったものの、IoTや5G(第5世代移動通信システム)の普及によるデータセンター向け、車載向けなどのニーズ拡大を背景に、半導体需要は増加傾向で推移しました。

このような状況の中、当社グループのエレクトロニクス関連事業において、顧客の設備投資に伴い発生するインシヤル部門(特殊ガス供給装置製造、供給配管設計施工)は、主要顧客である半導体工場において新規設備投資が一部想定より後ろ倒しとなったものの、設備投資は継続して実施され、好調に推移しました。また、生産活動に伴い発生するオペレーション部門(特殊ガス販売管理業務、技術サービス等)は、半導体工場での生産活動が拡大していることから、特殊ガス販売管理業務、半導体製造装置メンテナンスを中心に堅調に推移しました。

グラフィックスソリューション事業においては、デジタルサイネージ向け関連製品を中心に堅調に推移しました。

太陽光発電事業では、三重県内で3か所の太陽光発電所が順調に稼働しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は23,745百万円(前年同四半期比30.1%増)、営業利益は6,127百万円(前年同四半期比31.4%増)、経常利益は6,493百万円(前年同四半期比38.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,511百万円(前年同四半期比42.1%増)となりました。

①エレクトロニクス関連事業

当セグメントにおいては、売上高は23,035百万円(前年同四半期比31.1%増)、セグメント利益は6,744百万円(前年同四半期比33.0%増)となりました。

②グラフィックスソリューション事業

当セグメントにおいては、売上高は593百万円(前年同四半期比2.2%増)、セグメント利益は74百万円(前年同四半期比1.9%増)となりました。

③太陽光発電事業

当セグメントにおいては、売上高は116百万円(前年同四半期比7.5%増)、セグメント利益は67百万円(前年同四半期比31.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,798百万円増加し、50,300百万円となりました。これは主に現金及び預金が4,439百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が4,606百万円増加、流動資産のその他に含まれる前渡金が2,132百万円増加、商品及び製品が1,199百万円増加、原材料及び貯蔵品が798百万円増加したことによります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,657百万円増加し、9,956百万円となりました。これは主に未払法人税等が534百万円増加、未払金が447百万円増加、固定負債のその他に含まれる長期未払金が550百万円増加したことによります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,141百万円増加し、40,343百万円となりました。これは主に利益剰余金が、配当金の支払1,847百万円により減少したものの親会社株主に帰属する四半期純利益4,511百万円の計上により増加、為替換算調整勘定が451百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日付「2022年3月期決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想から修正を行っておりません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大による国内外の経済活動の更なる減速、主要顧客の設備投資の遅れ、顧客工場における稼働率の大幅な低下などにより、今後の事業活動及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,863,817	5,424,483
受取手形、売掛金及び契約資産	15,584,694	20,191,044
商品及び製品	1,270,742	2,470,245
仕掛品	1,605,243	1,247,468
原材料及び貯蔵品	2,031,232	2,829,988
その他	3,010,379	5,270,034
流動資産合計	33,366,109	37,433,263
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,562,025	5,865,256
その他（純額）	3,609,069	3,747,400
有形固定資産合計	9,171,094	9,612,657
無形固定資産		
投資その他の資産	43,955	39,926
リース債権及びリース投資資産	1,927,255	1,454,019
その他	993,704	1,760,879
投資その他の資産合計	2,920,959	3,214,899
固定資産合計	12,136,009	12,867,483
資産合計	45,502,119	50,300,747
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,658,962	3,653,746
短期借入金	134,262	180,453
未払金	428,943	876,780
未払費用	376,134	400,965
未払法人税等	1,493,419	2,028,184
賞与引当金	602,907	628,044
その他	350,128	396,181
流動負債合計	7,044,758	8,164,356
固定負債		
リース債務	575,004	514,864
退職給付に係る負債	589,567	636,421
資産除去債務	27,389	31,687
その他	62,985	609,554
固定負債合計	1,254,947	1,792,528
負債合計	8,299,705	9,956,885

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,317,815	1,317,815
資本剰余金	1,618,109	1,643,180
利益剰余金	35,090,894	37,754,472
自己株式	△1,060,135	△1,053,767
株主資本合計	36,966,683	39,661,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△555	△5,401
為替換算調整勘定	237,030	688,213
退職給付に係る調整累計額	△743	△649
その他の包括利益累計額合計	235,730	682,161
純資産合計	37,202,413	40,343,862
負債純資産合計	45,502,119	50,300,747

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	18,257,769	23,745,133
売上原価	12,218,936	15,787,168
売上総利益	6,038,833	7,957,965
販売費及び一般管理費	1,375,430	1,830,727
営業利益	4,663,402	6,127,237
営業外収益		
受取利息	3,198	5,235
受取配当金	2,435	7,602
為替差益	19,487	335,184
受取賃貸料	7,909	12,693
助成金収入	5,670	2,693
その他	6,514	7,414
営業外収益合計	45,216	370,823
営業外費用		
支払利息	3,461	2,995
不動産賃貸費用	1,693	1,460
その他	224	391
営業外費用合計	5,380	4,846
経常利益	4,703,239	6,493,214
特別利益		
固定資産売却益	278	—
特別利益合計	278	—
特別損失		
固定資産除売却損	2,232	19,003
退職給付費用	121,338	—
特別損失合計	123,571	19,003
税金等調整前四半期純利益	4,579,946	6,474,211
法人税、住民税及び事業税	1,373,729	2,022,459
法人税等調整額	32,763	△59,284
法人税等合計	1,406,493	1,963,174
四半期純利益	3,173,452	4,511,036
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,173,452	4,511,036

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	3,173,452	4,511,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,408	△4,846
為替換算調整勘定	180,026	451,183
退職給付に係る調整額	299	94
その他の包括利益合計	178,917	446,431
四半期包括利益	3,352,370	4,957,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,352,370	4,957,467
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,579,946	6,474,211
減価償却費	285,271	345,554
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11,482	△11,171
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△115,539	25,137
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	168,899	46,988
受取利息及び受取配当金	△5,633	△12,837
支払利息	3,461	2,995
為替差損益 (△は益)	2,348	△24,105
固定資産除売却損益 (△は益)	1,954	19,003
売上債権の増減額 (△は増加)	△110,392	△4,466,743
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△391,861	△1,568,561
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	550,096	482,857
差入保証金の増減額 (△は増加)	176,740	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	△55,090	△106,055
前渡金の増減額 (△は増加)	8,183	△2,132,598
その他	△156,907	335,782
小計	4,929,994	△589,542
利息及び配当金の受取額	5,888	9,270
利息の支払額	△3,461	△2,995
法人税等の支払額	△1,762,402	△1,524,668
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,170,018	△2,107,936
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△661,956	△1,292,660
定期預金の払戻による収入	658,119	739,080
有形固定資産の取得による支出	△940,945	△801,252
無形固定資産の取得による支出	△5,038	△2,280
その他	△6,773	95
投資活動によるキャッシュ・フロー	△956,594	△1,357,017
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	41,498	18,830
配当金の支払額	△1,641,935	△1,847,458
その他	△35,092	△39,653
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,635,529	△1,868,281
現金及び現金同等物に係る換算差額	52,049	281,140
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	629,944	△5,052,094
現金及び現金同等物の期首残高	9,514,588	8,983,156
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,144,533	3,931,062

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、第2四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表へ与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	エレクトロニクス 関連事業	グラフィックス ソリューション事業	太陽光発電事業	
売上高				
外部顧客への売上高	17,569,101	580,310	108,357	18,257,769
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	17,569,101	580,310	108,357	18,257,769
セグメント利益	5,069,994	72,970	51,234	5,194,199

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,194,199
全社費用(注)	△533,015
その他	2,219
四半期連結損益計算書の営業利益	4,663,402

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エレクトロニクス 関連事業	グラフィックス ソリューション事業	太陽光発電事業	
売上高				
外部顧客への売上高	23,035,444	593,206	116,483	23,745,133
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	23,035,444	593,206	116,483	23,745,133
セグメント利益	6,744,415	74,386	67,246	6,886,049

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	6,886,049
全社費用(注)	△763,667
その他	4,856
四半期連結損益計算書の営業利益	6,127,237

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。